

(様式2(1))

事業所名 グループホーム あじさい

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 10 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

SZ					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成の際、入居者によって情報やご家族の希望などの量に差があり、その結果、入居者やご家族の希望が十分反映されない計画になっていると思われる。	入居者やご家族の意見・希望が十分に反映された介護計画を作る。	「センター方式」を活用し、入居者の「個別ファイル」の内容を見直す。又、「月例会議」で居室担当者からの入居者の現状報告を活発に行う。	6ヶ月
2	7	虐待防止に対する意識、理解度が職員によって温度差がある。	虐待防止に関する「勉強会」を開いたり、研修に参加できる機会を増やし、職員の意識を高めていく。	リーダー、中堅職員のみならず、職歴の浅い職員にも外部研修を受講して頂き、会議やミーティングの場で発表する機会を作る。	6ヶ月
3	35	災害時に地域の方、町会などと連携する体制を作る必要がある。	万一の火災、自然災害の際、近隣の方と連携して救助、避難活動が行える。	「運営推進会議」の他、町会の会議などで、ホームの「見取図」等を確認して頂き、必要な情報を伝える(「個人情報」の扱いに注意しながら)。	12ヶ月
4	4	最近1年ほど、「運営推進会議」にご家族の参加がない。	ご家族様が参加し、地域を含めた意見交換の場を作る。	参加メンバーを1人に固定すると、参加し難いので、複数(できれば3人以上)に参加依頼をし、随時連絡する。	6ヶ月
5	20	入居者のかつての馴染みであった人が、訪ねてきやすい雰囲気を作る必要がある。	行事の時だけでなく、普段から「訪ねやすい雰囲気があるホーム」	先ず、行事の案内から始め、少しずつ入居者と接する機会を作っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。